

## 特集

# 議員定数について

議会改革特別委員会では、議員定数について検討事項として議論しています。議員間でも様々な意見がありますが、市議会としての方向性を示せるように、引き続き議論を重ねていきます。

ここでは、現在16名の議員の議論の中で出た意見の一部を掲載します。



### ◆ 議員の意見（議員定数について、各議員の意見を傾向ごとに分けて表にしました。）

項目	削減すべき	維持すべき
市の人口	市の人口減少を見据え減らすべき。	
市の財政	厳しい状況が続く中、議会も努力すべき。	
他市と合わせる	県内他市が削減しているので、同じ方向性を持つべき。	議員定数は、各自治体の考え方を持つべきで、他市町に合わせる必要はない。
市民の声	区長連合会からは削減を望む意見がある。	行政、議会をよく知る市民からは「簡単に減らすべきではない」との意見がある。
議会運営		議員定数を削減しても全体の仕事量は変わらないので、チェック機能が不十分になる。
新規の立候補者		定数削減は、間口を狭め、候補者不足の原因につながる恐れがある。

### ◆ その他

- 人口、予算額の減少、勤務時間、態度、議会の役割など定数削減の妥当性を考えるべき。
- 市民の声を議会に届けるために定数を増やし、選挙時の条件や報酬などの議論が必要。
- 委員会の編成など議会のあり方の議論が必要。
- 扶養手当等の福利厚生や報酬を充実させるべき。
- 若者や女性の候補者が少ない原因を分析し、対策するべき。